



思い切り弾んでみたい雲の上

作/塩入 教香

2019年 10月

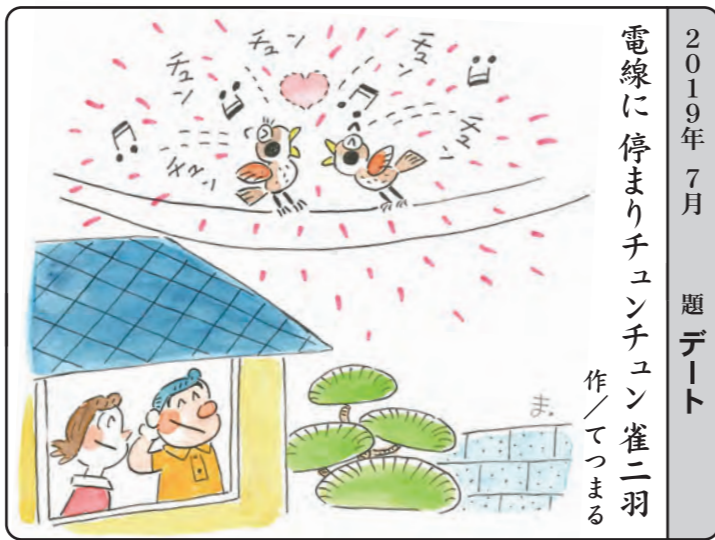
題 想 っ

[塩入 教香 さん]

ふんわりと自由気儘に流れている雲を見てると、うらやましくなりました。あんなふうに空を飛んで、雲の上から世の中を見たい気分です。

[西沢まもるの一言]

私は、まっ赤な夕焼け雲に乗ってみたいです。やけどするかも…。



2019年 7月 題 デー ト

電線に停まりチュンチュン雀二羽 作/てつまる

[てつまる さん]

二羽の雀が電線に停まりチュンチュン。鳴いている姿がデート中に見え、微笑ましく、また羨ましく思いました。

[西沢まもるの一言]

チュンチュンさえずっている雀って、楽しそうですね。うらやましいっ！



マスクして眼鏡してたら あんただれ 作/石川 川柳子

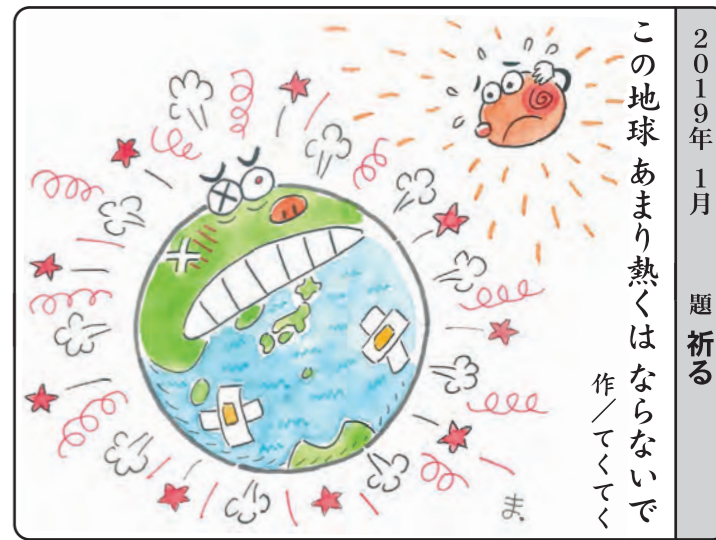
2019年 4月 題 マ ス ク

[石川 川柳子 さん]

(石川川柳子さんはコメントの掲載を辞退されました。)

[西沢まもるの一言]

黒メガネにマスクとくれば、やさしいじいちゃんもこわく見えますね。



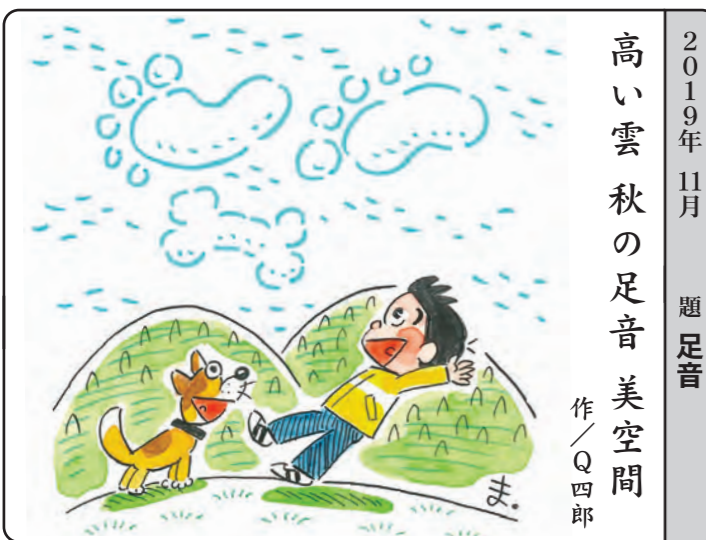
2019年 1月 題 祈 る この地球あまり熱くはならないで 作/てくてく

[てくてく さん]

穏やかに暮らせる地球が、ずっと続くといいですね。

[西沢まもるの一言]

だれもお祈りで願うことは、先ず世界平和ですね。そして家族の健康、3番目がピンコロ…！



2019年 11月 題 足 音 高い雲秋の足音 美空間 作/Q四郎

[Q四郎 さん]

積乱雲が去り、天空に秋の巻積雲(いわし雲)や高積雲(ひつじ雲)が現われ、美人雲に覆われる。只々自然界の生命の感動賦です。

[西沢まもるの一言]

ことは特に風水害でひどい目にあわされたので、秋晴れの日はホッとしますね。



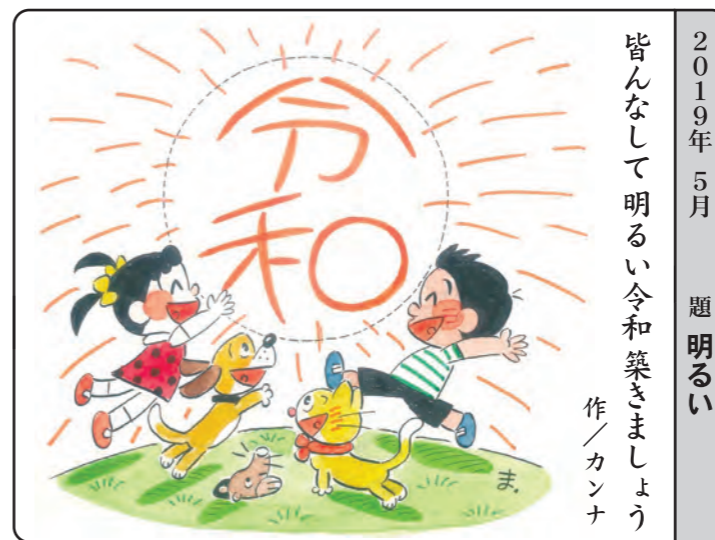
2019年 8月 題 花 火 口開けてみんな拍手の大花火 作/下条ヒサ子

[下条 ヒサ子 さん]

ドカーンと地面に響く破裂音。空一面の大花火に観衆は思わず立ち上がり、拍手です。

[西沢まもるの一言]

大空いっぱいの花火には、大きく口をあけてしまいますね。線香花火はまた、しみじみとした気持ちになりますね。トシヨリは花火に弱い！



2019年 5月 題 明 る い 皆んなして明るい令和築きましょう 作/カンナ

[カンナ さん]

明治、大正、昭和、平成、令和の各世代の皆さんと仲良く生きて行きましょう。

[西沢まもるの一言]

『新元号』で大さわぎ。新しいってことでうれしくなっちゃんですよね。



2019年 2月 題 焼 く 焼いもを食べたらオナラがプププー 作/丸山 そな

[丸山 そなさん(小学4年)]

焼きいもが大好きで、ひーおばあちゃんとよく手をつないで買いに行きました。ひーおばあちゃんと食べると特別おいしかったです。

[西沢まもるの一言]

私事ですが、大腸の手術の後、数ヶ月経って、きれいな音(?)のオナラが出た時はうれしかったです。オナラは偉大です。



2019年 12月 題 飾 る シミとシワ 生きた勲章 自負してる 作/倉ちゃん

[倉ちゃん さん]

増えているシミとシワ。苦のシミと、楽のシワをとらえて、これから先も仲良くおつき合いを、と伝えています。

[西沢まもるの一言]

「倉ちゃん」さんはエライ！ 私なんて、めったに鏡を見ない！



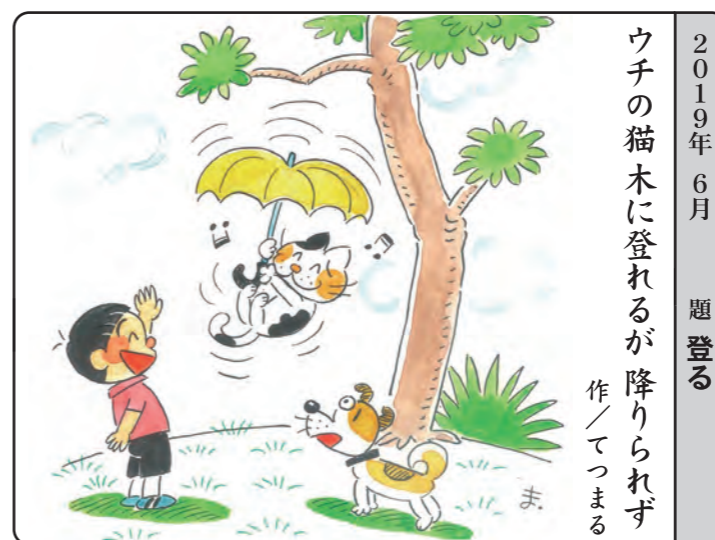
2019年 9月 題 料 理 「ご飯だよー」家族まとめる母の声 作/酒井 猛

[酒井 猛 さん]

家族がまとまる賑やかな、楽しいひと時。「ご飯だよー」。幼き頃の母の掛け声が思い出されます。

[西沢まもるの一言]

母の「ご飯だよー」の声の待ち遠しかったこと。あの頃がやたらなつかしいですね。



2019年 6月 題 登 る ウチの猫木に登れるが降りられず 作/てつまる

[てつまる さん]

昔ウチにいた猫は、野良猫に追いかけられると器用に木に登って逃げてました。懐かしい思い出です。

[西沢まもるの一言]

登るといえば富士登山が夢ですね。でも、旅客機の窓から見た富士山の小さいこと！ 富士山は絶対、地上から見ましよう。



2019年 3月 題 合 格 合格へいっしょに届く花粉症 作/堀松白

[堀松白 さん]

サクラ咲く、よるごびの合格通知。努力あったればこそ。同じ頃無断で入り込む花粉症。完治への神頼み、効果の程は。

[西沢まもるの一言]

不合格の人にとっては「踏んだり蹴ったり」ですね。ガマン、ガマン。